

「さがみはら♥愛 子育て応援フォーラム」の動画公開 & シティプロモーションブック別冊を発行します！

「子育てするなら相模原がいい！」そんな思いを持っていただきたく、相模原市出身のモデル富永愛さんらをゲストにお迎えし、相模原市シティプロモーションイベント「さがみはら♥愛 子育て応援フォーラム」を令和4年10月11日（火）に開催しました。

このたび、イベントの様態を収録した動画を期間限定で公開しますのでお知らせします。また、イベントの様態をまとめた市PR冊子「相模原市シティプロモーションブック別冊」を発行します。

◆動画について

1 公開期間

令和4年11月25日（金）～令和5年3月31日（金）まで

2 公開場所

相模原市公式ホームページ内で公開

https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/city_promotion/1026305.html

3 内容

第1部 パネルディスカッション

子育て番組のMCとしても活躍している鈴木あきえさんをはじめ、多彩なゲストが「子育てを楽しむコツ」など、テーマに沿った楽しくタメになるトークを展開しました。



第1部

パネルディスカッション

「子育てを楽しむ生き方 ～わたしの場合」

子育ての楽しさや親子のコミュニケーションなど、トークテーマは盛りだくさん。子育て番組のMCでおなじみの鈴木あきえさんや市内在住のパパとママの代表にもご参加いただき、子育て目線で相模原市の魅力について考えます。



子育て番組で活躍・2児のママ
鈴木あきえさん



市内子育てパパ
梅津賢一さん



市内子育てママ
手塚美咲さん



和泉国際大学教授
井狩芳子さん



相模原市長
本村賢太郎

第2部 富永愛さんトークショー

相模原市出身の富永さんならではの話題や、実際に相模原市で子育てを経験して感じた、子育て環境の良さや子育て中の方への熱いメッセージなど、“さがみはら愛”たっぷりのトークショーです。



第2部

トークショー 地元橋本から愛に溢れたトーク!

「仕事、子育て、SDGs—— 富永愛さんトークショー」

世界の第一線でトップモデルとして活躍する富永愛さんが、地元・橋本で凱旋トークショー。消費者庁の「エシカルライフスタイル SDGs アンバサダー」も務める今のご自身から見た相模原市の魅力や、1児の母になった経験、同世代へのメッセージなど、愛に溢れた様々なトークを繰り広げます。

司会者 相模原市長 本村賢太郎



モデル
富永愛さん
(相模原市名誉観光親善大使)

◆相模原市シティプロモーションブック別冊について

令和5年2月に発行予定の「相模原市シティプロモーションブック」の事前PRを兼ねた別冊として、上記のイベントの様様をまとめた冊子を発行します。

市ホームページで閲覧可能となるほか、市内公共施設やイベントなどで配布します。

※冊子は11月28日より順次配布します。



【問い合わせ先】
市長公室 観光・シティプロモーション課
電話：042-707-7045（直通）

All my city
Sagamihara



子育て、 そして相模原への愛を語る Talk Show

富永愛さんトークショー



相模原市緑区橋本にある「杜のホールはしもと」で令和4年10月11日に、相模原市シティプロモーションイベント「さがみはら♡愛子育て応援フォーラム」を開催しました。

イベントには、相模原市出身のモデル・富永愛さんをお招きし、本村賢太郎市長と地元愛たっぷりトークを繰り広げました。

「仕事、子育て、SDGs—富永愛さんトークショー」と題し、本村市長と子育てや地元相模原市への思いを語った富永さん。小学生から高校卒業までの期間を相模原市で過ごしたとあって、地理にも詳しく、



都市化が進む市街地

様々なスポットや懐かしい思い出なども数多く飛び出しました。

トークショーの冒頭で本村市長から「相模原市の印象」を聞かれた富永さんは、自身の学生時代に橋本駅周辺が再開発され、都会的で素晴らしいまちに生まれ変わったこと、またその一方で、緑区には山や湖、川など豊かな自然が広がっ

相模原市長
本村 賢太郎

ていることなどを挙げ、相模原市は「なんでもあるまち」だと感じていると話しました。「相模川にもよく行きましたし、大島のキャンプ場でキャンプを楽しんだことも。ミウイ橋本にある市立図書館で受験勉強をしたこともありです」と当時を懐かしみました。

富永さんは、息子さんがまだ幼い頃の数年間、相模原市で子育てをしていたそうです。現在も市内にアトリエを構えるほど、その環境の良さに魅力を感じてい



緑区には豊かな自然が広がる

ると言います。「大型店舗も多く、買い物も便利で、子どもと遊びに行ける自然もたくさんあります。相模原市は子育てに向いているまちだと思います」と話しました。

また、消費者庁のエンシカルフライフスタイルSDGsアンバサダーとしても活躍する富永さんは、相模原市のSDGs施策について、「啓発のためにゲームや専用サイトを作ったり、企業とパートナーシップを組んで推進したりと、実に多くの事に取り組んでいて素晴らしいと思います。これからはリアが通ればますます都会化が進み便利になると思いますが、子育てしやすいまちを維持していったいですね。地元の祭りな

ど昔からある伝統を守り、自然環境を活かすなど、子育て視点をいかした相模原市らしいまちづくりをしていって欲しいと思います」と期待を込め本村市長に想いを伝えました。公演の最後に富永さんは、「私自身、子どもと時間を取れなくて罪悪感にかられたこともありました。子どもは母親の幸せで楽しい姿を見て安心する。根を詰め過ぎずに、いい塩梅でお母さん自身が幸せになってもらいたい」とお母さんたちに熱いエールを送りました。

モデル
富永愛さん
相模原市
名誉観光親善大使

表紙・トークショー撮影
島津明 (W)

第一部では パネルディスカッションも

イベントの第一部では、「子育てを楽しむ生き方」わたしの場合」と題したパネルディスカッションを開催しました。相模原市出身のアナウンサー・坂本洋子さん司会のもと、本村市長、子育て番組などで活躍するタレントで2児のママでもある鈴木あきえさん、和泉短期大学児童福祉学

科教授の井狩芳子さん、市内子育てを楽しむコツに関しては、多くの登壇者が「イラ

イラしないこと」がとても重要とし、頼れるサービスや便利なアイテムを積極的に使い、心と時間に余裕を持つ努力をしていると話しました。井狩教授は「皆さん色々工夫して素晴らしいと感じました」と感想を述べると、本村市長も、相模原市が取り組む様々な子育て支援策に触れ、「これからも市民の皆様からのご意見もうかがいながら、相模原市ならではの子育て支援を展開し、子育てするなら相模原。そう言ってもらえるように取組んでいきます」と話しました。



和泉短期大学教授
井狩 芳子さん



相模原市長
本村 賢太郎



市内子育てママ
手塚 美咲さん



市内子育てパパ
梅津 賢一さん



子育て番組で活躍
タレント・2児のママ
鈴木 あきえさん



さがみはら3区の魅力を紹介



緑 区

midori-ku

アクセス抜群! 広がる大自然! キャンプも人気の緑区

大自然を満喫でき、都心から約1時間というアクセスの良さから、気軽に楽しめる「キャンプ」の穴場としても人気の緑区。



提供: JR東海

東京2020オリンピック競技大会自転車ロードレース競技のコースとなるなど、自然の中で起伏に富んだ地形は、サイクリストからも注目を集めています。さらに、橋本地区は、リニア中央新幹線の駅の建設が進んでおり、市内外から注目されるエリアとなっています。



中 央 区

chuo-ku

桜と宇宙を感じられるまち中央区

春には約300本のソメイヨシノが市役所さくら通りを彩るなど、桜を満喫できる中央区。JR相模原駅北側は、相模原スポーツ・レクリエーションパークが、相模総合補給廠の共同使用区域にオープンするなど、今後の発展に大きな期待が寄せられています。



©JAXA

また、JAXA宇宙科学研究所相模原キャンパスがあり、「宇宙」を身近に感じられる催しも盛んです。



南 区

minami-ku

先進的な街並みとアクセスの良さで人気の南区

本市の南の玄関口となっている「相模大野」は新宿まで電車で約35分。大型複合施設や人気ショップが揃うなど、利便性に優れているほか、ギオンスタジアムなどのスポーツ施設や相模原麻溝公園などの大きな公園があり、子育て世代の人気を集めています。



また、天保年間から伝わる伝統行事「相模の大風まつり」は、毎年揚げているものとしては、日本一の大きさを誇る大風が舞い上がります。



予告

令和5年2月 相模原市PR冊子

「相模原市シティプロモーションブック」発行!

富永さんの
インタビューも
有ります



市マスコットキャラクター「さがみん」